



民間ユネスコ活動におけるウクライナ緊急支援報告

第151回日本ユネスコ国内委員会総会
令和4（2022）年9月8日（木）



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

支援実績

募金期間 2022年3月4日 ～ 5月31日

募金総額 80,896,681円 (8月31日現在)

既執行額 [募金総額の74%] (8月31日現在)

支援内容 ウクライナ避難民の滞在所開設
および生活物資等の提供

支援形態 現地ユネスコ協会等の団体と
各地のニーズに応じた財政支援

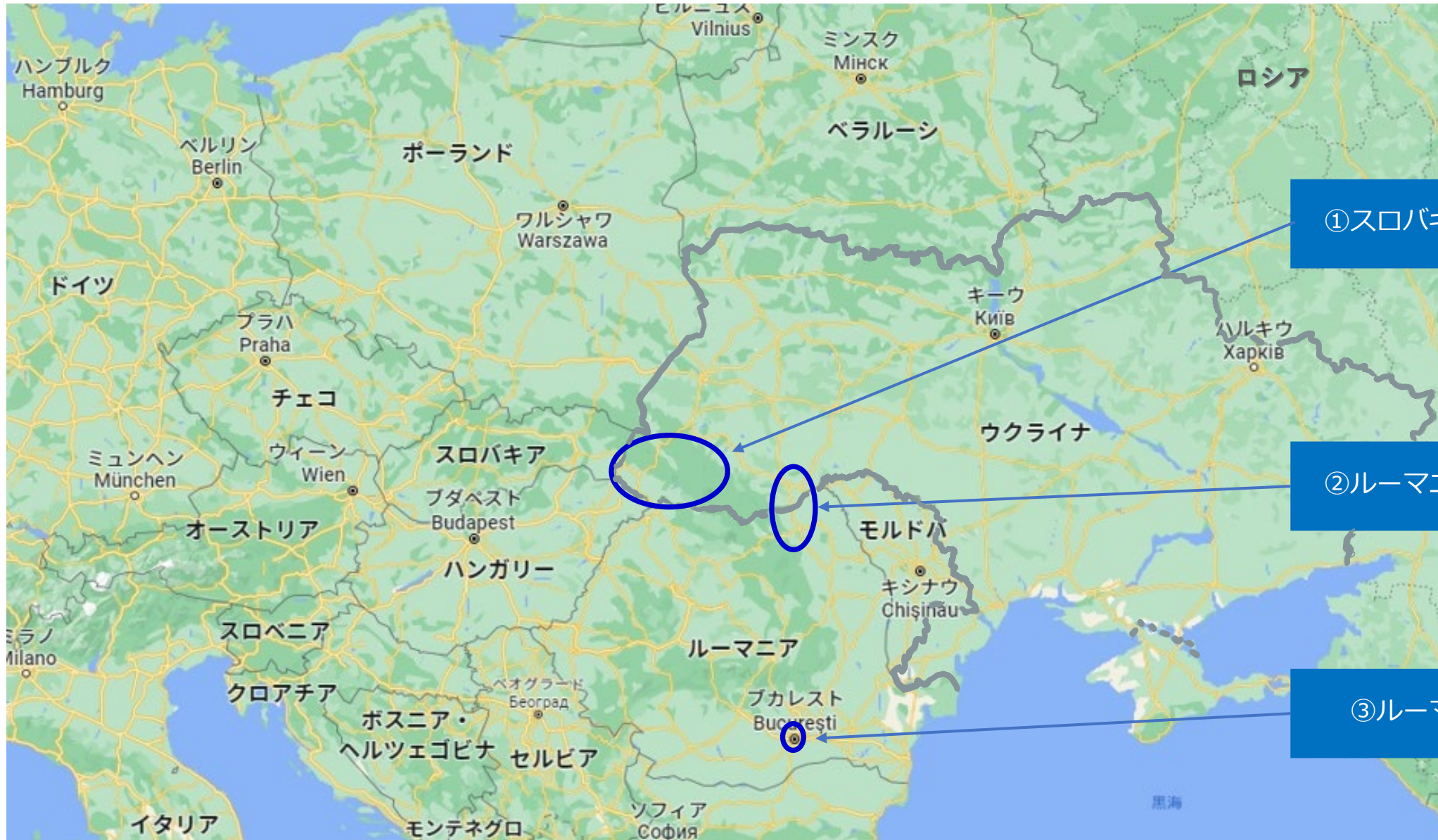


(写真提供：チェルノフツィユネスコ文化センター)

ウクライナ情勢への対応および緊急支援 実施経緯

| | |
|-------|--|
| 2月24日 | ロシア軍によるウクライナ侵攻開始 |
| 2月27日 | ウクライナの危機に関する 日本ユネスコ協会連盟による声明 |
| 3月3日 | ウクライナユネスコ国内委員会に連絡を試みるが、連絡が取れず |
| | ウクライナ周辺のポーランド・スロバキア・ハンガリー・ルーマニア・モルドバのユネスコ国内委員会やユネスコ協会に、避難民支援実施につき問い合わせ開始 |
| 3月4日 | <u>「ユネスコ協会・ウクライナ緊急募金」</u> を開始 |
| 3月7日 | ウクライナ・チェルノフツィユネスコ文化センター（チェルノフツィ市）が行う、ウクライナ他地域からの避難民支援に送金開始 |
| 3月17日 | ルーマニア・シグヌス科学ユネスコ協会（スチャバ市）が行う、ウクライナ避難民支援に送金開始 |
| 3月22日 | スロバキア ユネスコ国内委員会より、避難民支援を行うスロバキアNGOの紹介を受ける（他国国内委員会からの回答は無し） |
| 4月14日 | 上記スロバキアNGOの一つ、ピープルインニード・スロバキアと行う、ウクライナ西部ザカルパッチャでの国内避難民支援活動に送金開始 |
| 6月14日 | ルーマニア ユネスコクラブ連盟会長より、同国ブカレストでのウクライナ避難民支援活動の申し出を受け、内容の協議開始 |
| 8月24日 | 上記プログラム実施団体・ルーマニア ユネスコアルムニクラブに送金開始 |

支援対象地域（2022年3月～8月現在）



①ウクライナ・スロバキア国境地域

ウクライナ西部ザカルパッチャ州に退避した避難民へ支援物資を届けました

スロバキアの人道支援NGO「ピープルインニード・スロバキア(PINSK)」が運営する避難所へ、食料・衛生用品・子ども用品・医薬品などを配布しました。



(写真提供：Petr Voloscuk)

✓ 支援物資内容

食糧、医療資機材、寝具、洗濯機、
台所用品、冷蔵庫、電気温水器、
衛生用品

上記以外に、心理ケア・定住支援などソフト支援も実施中。

PINSK : 1999年コソボ紛争を機に設立されたNGO。これまでに世界29ヵ国で人道支援を行った実績をもつ。ウクライナ・ザカルパッチャ州では、各市内の学校など20ヵ所の公的施設を拠点とし、避難所を開設・運営。

②ウクライナ・ルーマニア国境地域

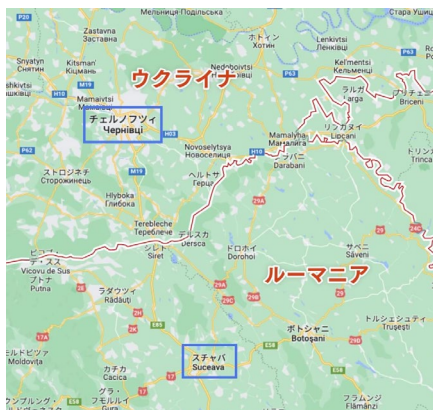
民間ユネスコのネットワークで、国境を挟んだ2市で避難民支援を行いました

関係団体：

ルーマニア ユネスコ協会クラブ連盟

シグナス科学ユネスコ協会（ルーマニア・スチャバ市）

チェルノフツィユネスコ文化センター（ウクライナ・チェルノフツィ市）



【地理的關係と経緯】

チェルノフツィ市とスチャバ市は、もとはともにルーマニア領の一地方でした。第2次世界大戦後、北部チェルノフツィは、当時のソ連（のちにウクライナとして独立）に編入されました。

両市のユネスコ団体は、現在の国境をまたぎ、共通の歴史や文化を持つ市民同士の交流を続けてきた関係を背景に、ウクライナからの避難者への支援も、連携して行いました。



写真左：衣類などの物資配布



写真右：ボランティア学生企画による子ども向けお絵かきイベント

写真提供：

チェルノフツィユネスコ文化センター

✓ 支援物資・活動内容

- Tシャツ：295枚
- 下着：190枚
- 缶詰類：1200個
- ぬいぐるみ：400個
- ディーゼル燃料：500リットル
- 翻訳機：30セット
- 電気温水器：1セット
- 大学生ボランティアによる交流企画

等

③ ルーマニア・ブカレスト

避難生活の長期化を受け、ルーマニア国内の民間ユネスコ団体が行う避難者の食糧支援、語学学習、心理的ケアを行います

関係団体：

ルーマニア ユネスコ協会クラブ連盟

アルムニ・ユネスコクラブ協会（ルーマニア・ブカレスト市）



ヨーロッパ連盟会長で、ルーマニアのアルムニ・ユネスコクラブ協会会長のダニエラ・ポペスク氏（左写真右側）は、2017年に仙台で行われた全国大会で来日。

✓ 支援内容【計画中含む】

- ロメクスポ避難民収容センターへの食糧支援（約800人）
- ルーマニア語教室の実施（30時間コース・180人）
- 世界遺産、博物館訪問ツアー（1～2泊・70人）

日本国内の地域ユネスコ協会の取り組み

募金の呼びかけのほか、独自でもウクライナの平和を訴えるイベント等を行い、地域社会とともに行動しています



【例】 京都ユネスコ協会
京都駅前街頭募金。



【例】 長浜ユネスコ協会「平和の鐘をならそう」
長浜国際ソロプチミストと連携。協力者にひまわりの種贈呈も。

日本国内の地域ユネスコ協会の取り組み②

全国各地域の地元メディアにも取り上げられ、協力の広がりにつながりました <新聞・テレビ・ウェブページ等への掲載>

【例】上毛新聞サイト 3月19日

ルーマニア避難の難民支援向け募金 安中碓氷ユネスコ協会 5日まで

地域の話題 社会 政治行政 2022/3/19 11:00

シェアする ツイート B!ブックマーク LINEで送る この記事をクリップ



安中碓氷ユネスコ協会（矢野薫会長）は4月5日まで、安中市役所本庁舎など市内5カ所に募金箱を設置して「ウクライナ緊急支援募金」の受け付けをしている＝写真。ロシアの侵攻によってウクライナの隣国ルーマニアに避難した難民の支援に役立てる。

同協会によると18日現在までに、約280万人の難民が周辺国に流入。防寒着や寝具、食べ物が不足する中で避難生活を続けているという。ウクライナの協会では戦争により組織的活動が難しくなったため、ルーマニアの協会を通じて難民に支援物資を届ける。

募金箱は本庁舎のほか、松井田庁舎、谷津庁舎、市文化センター、松井田文化会館に設置した。矢野会長は「多くの市民に協力してもらい。現地に早く支援を届けたい」と話している。

本庁舎、松井田庁舎、市文化センター、松井田文化会館の4カ所は、日本赤十字社の募金箱も設置している。5月31日まで。

掲載数：18団体・36件（～5/31募金呼びかけ期間中）

メディアリスト：

| | | |
|-----------|------------|------------|
| 岩手日日新聞 | あぶくま新報 | 上毛新聞 |
| 東京新聞地域版 | 茨城新聞クロスアイ | 鎌倉朝日新聞 |
| 京都新聞地域版 | 舞鶴市民新聞 | 滋賀夕刊新聞社 |
| 読売新聞地域版 | 読売新聞オンライン | 中日新聞 |
| 神戸新聞NEXT | NHK web | 朝日新聞デジタル |
| AGARA紀伊民放 | びわこ放送 | 和歌山放送ニュース |
| 橋本新聞 | 山口新聞 | 日刊新周南電子版 |
| 福島民友新聞 | 愛媛新聞オンライン | Yahoo!ニュース |
| 四国中央テレビ | コスモスネットワーク | |

※連盟事務局調べ。順不同。
※1メディアで複数件の掲載あり。